



<https://www.higashiosaka-mc.jp/kango/>

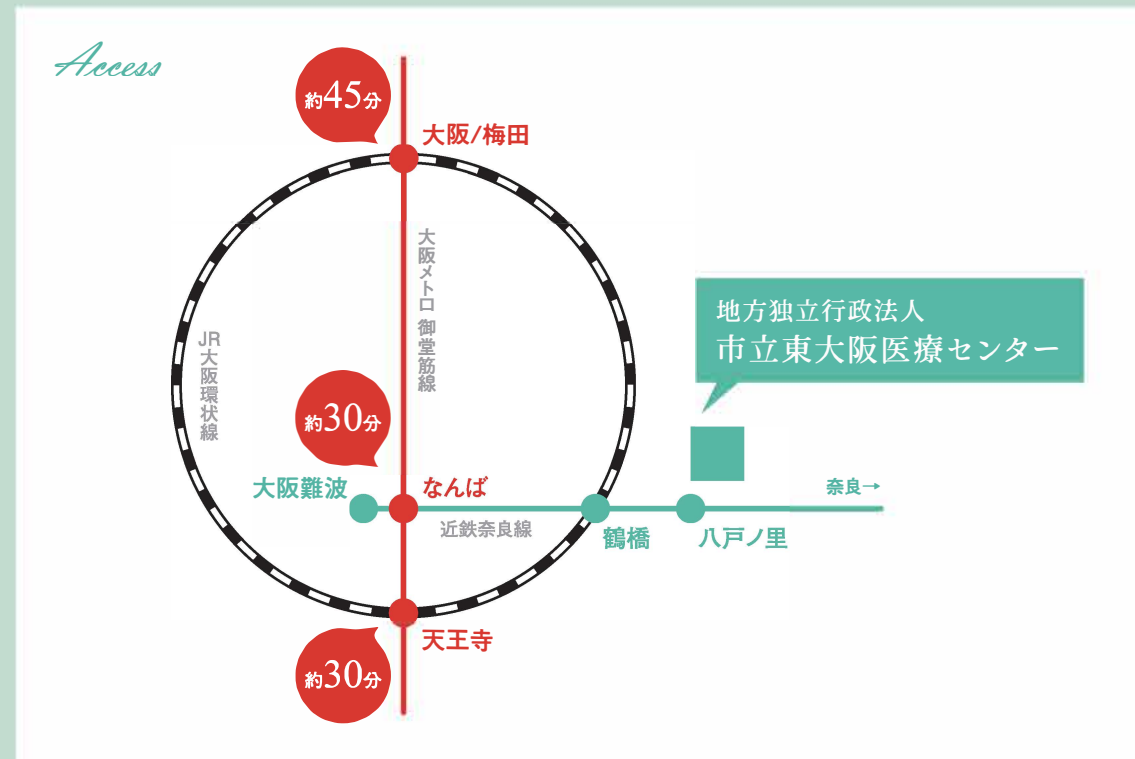


心とこころが
かよいあう看護

Heart to Heart



地方独立行政法人 市立東大阪医療センター



■ 電車でお越しの場合

近鉄奈良線「八戸ノ里駅」から徒歩13分
「八戸ノ里駅」線路沿いに東へ進んでいただき、
中央環状線を左折してください。

■ 近鉄バスでお越しの場合

近鉄奈良線「八戸ノ里駅」から10分
近鉄バス25番「市立東大阪医療センター」行きへ
ご乗車ください。



地方独立行政法人
市立東大阪医療センター

〒578-8588 東大阪市西岩田三丁目4番5号
TEL 06-6781-5101(代表)



東大阪市、中河内の地域医療の中核病院として

- ▶ 地域医療支援病院
- ▶ 地域がん診療連携拠点病院
- ▶ 災害拠点病院
- ▶ 地域周産期母子医療センター

地域医療の充実へ

ここでしかできない看護がある。

診療科目 内科／腎臓内科／内分泌代謝内科／免疫内科／血液内科／総合診療科／呼吸器内科／循環器内科／消化器内科／神経内科／皮膚科／小児科／精神科／外科／消化器外科／ストーマ外来／呼吸器外科／心臓血管外科／乳腺外科／小児外科／臨床腫瘍科／泌尿器科／脳神経外科／整形外科／形成外科／眼科／耳鼻咽喉科／頭頸部外科／産婦人科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／病理診断科／臨床検査科／緩和ケア内科／救急科／歯科・歯科口腔外科

部門 薬剤部／放射線技術科／臨床検査技術科／リハビリテーション技術科／臨床工学科／栄養管理科／外来化学療法室／内視鏡センター／血液浄化部／医療の質・安全管理部／集中治療部／治験・臨床研究・PMS／地域医療連携室

病床数 520床（一般病床）
うち、ICU 10床、NICU 6床

理念 philosophy

わたしたちは地域のみなさまに信頼され、心とところがかよいあう看護をめざします。
看護に誇りをもち、医療チームの一員として連携し、最良の看護をめざします。

基本方針

1. 看護倫理を大切にした看護をします。
2. 確かな看護技術で安全で安心できる看護をします。
3. 温かみのある心のかよいあうチーム医療を行います。
4. 礼節のある職場環境づくりをします。

01. 「働く環境の管理」

子育て支援も含め看護職員が抱える職場や業務上の問題の改善に取り組み、メンタルケアによる支援も実施しながら働き続けたい職場環境の改善を行う。

02. 「教育環境管理」

認定看護師等の専門能力（実践・相談・指導）を看護の場で活かし、スペシャリストの立場から提言を行い看護の質を高めていく。

管理体制

「医療の質の管理」

「教育環境管理」

「看護専門領域の管理」

03. 「看護専門領域の管理」

医療安全管理室の専従として院内の医療安全の予防策、対応策、事象の分析など精通し、院内の教育、指導、広報などを計画的に行なう。

04. 「医療の質の管理」

計画的な教育を通して情報提供や個人のキャリアアップを系統的に実施する。また、研修の企画、実践、効果を検証しながら課題等を明確にしながら、その改善を行う。



副院長・看護監
田中 春美
（認定看護管理者）



看護局長
明渡 一美
（認定看護管理者）

市立東大阪医療センターは、大阪府の東部に位置する東大阪
市にある病院で、人口約80万人の二次医療圏において急性期
医療を提供する地域の中核病院です。

看護局では、専門職として自律して実践力が発揮できるように、
継続教育システムやIVナース院内認定制度、院内・院外研修受
講支援などを整えています。また、勤務が継続できるように、ライフ
ステージに応じた制度が充実しており、「やりがい」と「働きがい」
がある病院です。

保健師・助産師・看護師の国家資格を得て初めて働く人、他の医
療機関での経験を持つ人、男女を問わず幅広い看護の人財を歓
迎します。

市立東大阪医療センターでは、「誠実な医療を地域の人々に」を
理念として掲げています。ひとりひとりの患者さんの思いや生き方
を確認し、その人らしい生活が送れるように地域ぐるみで支援でき
るように努めています。

看護局では、キャリアの初期からなりたい看護師像に近づくため
のしくみがあります。看護職として成長していくためには、時間と努
力が必要です。成長した軌跡を確認しながらキャリア形成できる
環境を整えています。

ホームページや病院見学会、看護インターンシップ等を活用し、市
立東大阪医療センターを知っていただければと思います。



地方独立行政法人
市立東大阪医療センター看護局の教育体系図

教育理念

豊かな人間力をもった、チーム医療のキーパーソンとなる人材を育成する

4つの能力

1. 専門的・倫理的・法的な実践力

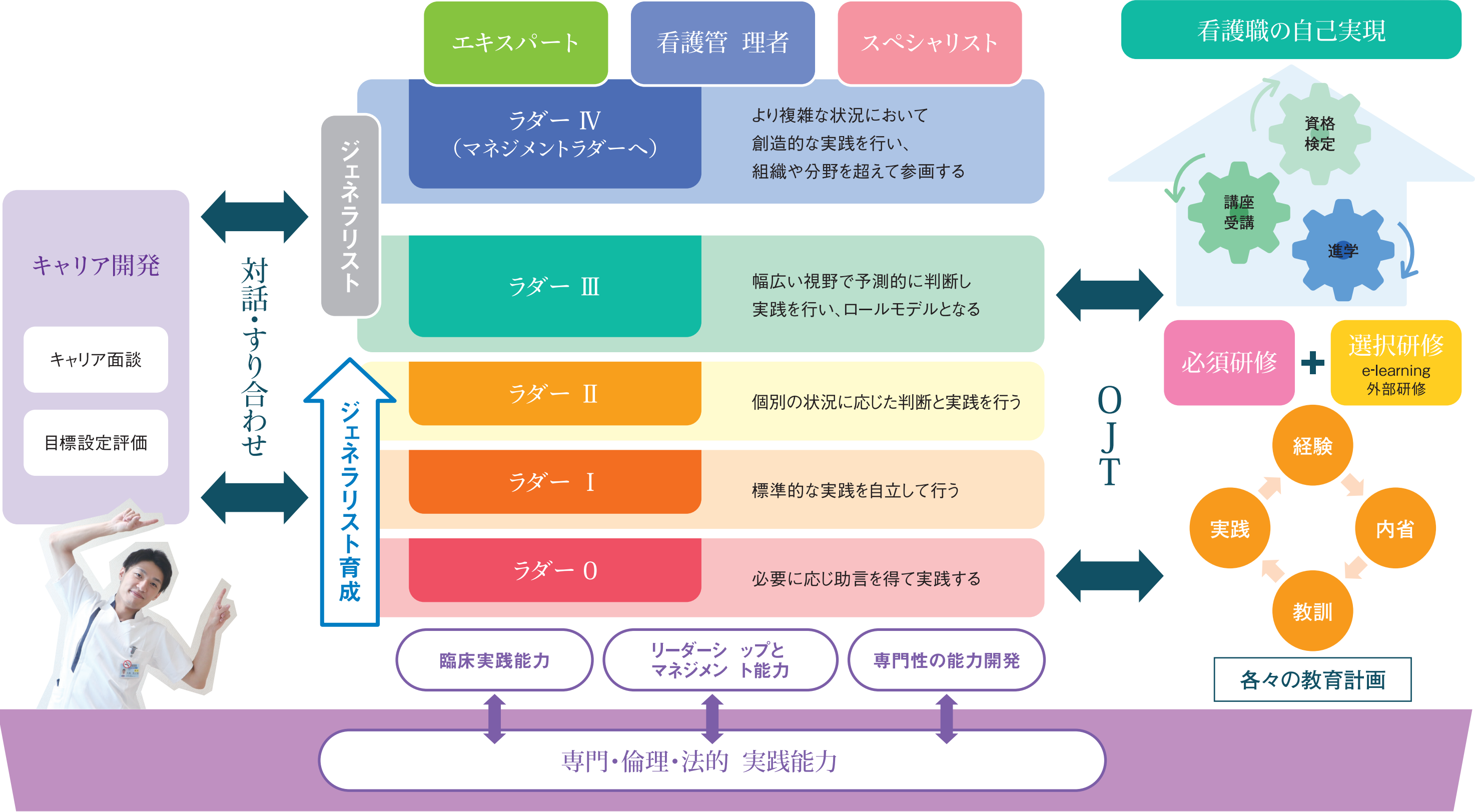
2. 臨床実践能力

3. リーダーシップとマネジメント能力

4. 専門性の開発能力

求める助産師・看護師像

- ① 対象の多様化した価値観を受け入れる豊かな感性をもった看護職
- ② 専門的な知識・技術を持ち複雑化するニーズを捉えケア提供できる看護職
- ③ 多職種と協働し、より良い医療を探究できる看護職
- ④ 継続的な学習を主体的に取り組むことができる看護職
- ⑤ 自らのキャリアに対して積極的に取り組むことができる看護職



スケジュール
schedule

day and night

看護師の1日

看護師の1日は日勤と夜勤があるので、慣れない頃は体調管理もすごく大事!そして、慣れないはじめの頃は必ず、実施指導者やチューターがしっかりフォローをします!

仮眠

night

夜勤

day

日勤

21:00 イブニングケア

19:00 ラウンド

18:00 配膳

16:45 引継ぎ

8:30 情報収集

9:00 点滴準備

10:00 ラウンド

12:00 配膳

14:30 カンファレンス

16:30 申し送り

the first year

1年目のスケジュール

もっとも大事な1年目!成長のために必要な技術を身に付けるだけでなく経験を通して自信にも繋がります。

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

入職時研修
褥瘡研修



看護過程



基礎看護技術
感染管理



がん看護



サポート研修



緩和研修



まとめ研修



市立東大阪 医療センターの特徴 feature



手術棟(ハイブリッド手術室)



ICU



NICU



小児医療センター



周産期センター



緩和ケア病棟



message



現場の最前線でしっかり成長したい

山口 真央 (2020年入職 集中治療室)

私は、地域医療や災害医療に携わりたいと考えていたため、その機能を持ち中河内地域内で急性期医療提供している、この病院で働きたいと思いました。私が勤務するICUでは、重症や急変リスクの高い患者さんが多く、特殊な処置や管理が必要です。配属当初は、自分の技術が追いつくのかという不安や、不足している知識や技術の量に苦戦することもありました。しかし、悩んだ時は先輩看護師だけでなく、その他の医療者からの支援を受けながら、患者さんの個性を一緒に考えて実践しています。患者さんの病状が改善し病棟に上がっていく姿や、患者さんの笑顔が見られることが私にとってやりがいを感じる部分です。患者さんやご家族の立場になって考え、患者さんや家族がこの看護師で良かったと思ってもらえるような看護師になりたいです。

message 認定看護師の活躍



クリティカルケア看護
認定看護師

河野 久世 (2003年入職)

近年、我が国の救急搬送件数は年々増加し、COVID-19 では医療逼迫のために搬送先が見つからない事案が多数起こりました。それら

を振り返って、在宅で受けられる医療や看護の幅を広げることで、その人のみならず周囲の人々の安心やQOL向上つながると思われま。また、その人がその人らしく過ごせるように、病院ではなく、自宅をはじめとした地域でできる限り暮らせるような連携が求められています。救急看護領域もその役割の一端を担っており、今後は地域への訪問や在宅でのフィジカルアセスメント、特定行為の実施、ACPの推進を行っていく予定です。



手術看護認定看護師

田中 協子 (2004年入職)

私は、手術を受ける患者の思いに寄り添い、患者が安心して手術を受けられるように、手術棟で働く看護師に根拠を持った教育、やりたい看護ができるように支援

がしたいと思い手術看護認定看護師を目指しました。現在は、手術棟看護師の教育ではなく院内の継続教育を実施し、周手術期の患者の生体的変化や心理的变化を読み取って、看護実践できる人材を育成しています。



集中ケア認定看護師

高瀬 正恵 (1998年入職)

私が集中ケア認定看護師を目指したのは、エキスパートナースへの道を支援し、応援してくれる環境が整っていたことや、看護の力で患者が回復できことを多くの先輩

看護師から教えてもらい、私も看護の力で回復に導きたい!と思っていたことがきっかけでした。現在、スタッフへ根拠を持った看護が行えるように指導を行い、時には一緒に悩み、最善のケアについて考えて実践する日々です。生命の危機的状況下にある患者・家族に対し多職種が協働し、危機を脱して回復していく姿が、私の看護の原動力になっています。



がん薬物療法
看護認定看護師

田村 雅子 (2007年入職)

私は、がんと診断された時から人生の最終段階に至るまで、長い間、患者さんに寄り添った看護がしたいと考え、がん薬物療法認定

看護師を目指しました。抗がん剤治療の選択幅が日々広がってきており、点滴薬、内服薬、など様々です。薬物全般の副作用マネージメントを医師、薬剤師、看護師、栄養士などで定期的にカンファレンスを行いながら、患者さんが住み慣れた地域で、より長くその人らしく生活できるようにサポートしています。

現在は外来化学療法室のスタッフに支援するだけでなく、外来から病棟へと組織横断的に活動しています。地域の患者さんが安心して、長期治療が継続できる環境作りを日々実践しています。



感染管理認定看護師

岸田 悦子 (2002年入職)

私は、新型コロナウイルス感染症の対応を通して、感染管理認定看護師の役割は重要であることを再認識し、当センターの医療関連感染予防を指導できる看護師になりたいと思いこの資格をとる

ことを決断しました。現在、感染管理認定看護師として、院内の感染対策の実施・評価を行い、改善策を見だし、よりよい対策をスタッフとともに考え実践できるよう対応しています。また、感染対策で重要とされる手指衛生の精度が向上するよう介入し、患者・家族と医療従事者双方の安全が守られるよう取り組んでいます。



皮膚排泄ケア認定看護師

佐伯 真希 (2006年入職)

私は、創傷やストーマケアに難渋し、苦痛や羞恥心を感じている患者を目の当たりにして悩んだ経験から、患者と処置やケアに悩む看護師に寄り添い、“笑顔にしたい”

と思い専門的知識と技術を習得できる皮膚・排泄ケア認定看護師を目指しました。現在は、褥瘡回診やストーマ外来で、患者の目標を医師、栄養士、OT/PTや地域医療の方々と共に共有し、退院後の生活やアイデンティティを守る看護に取り組んでいます。また、当センターのクリニカルラダーに沿って、認定領域研修を段階的に行っています。演習を組み込んだ研修は、患者体験することで気づきのある看護を体感し、OJTで目標を達成しながら実践能力を修得できる教育支援をしています。ポジショニングのラウンドでは、患者・看護師と共に笑顔になれる看護を支援しています。

職場環境

environment

教育・実習支援チーム

土岡 香 (1997年入職)

当センター看護局は、「豊かな人間力をもった、チーム医療のキーパーソンとなる人材を育成する」という教育理念に基づき、患者のニーズを捉えた看護サービスを目指しています。当院では選択研修を多数開催しているほか、継続教育として看護職自身の能力・キャリア志向を引きだせるよう対話を重ね、自己実現に向け支援を行っています。

新人看護職員には、臨床実践力を指導する実地指導者と精神面の支援を行うチューターそれぞれ担当につき、支援を受けて看護が行えるように取り組んでいます。私たち教育実習支援チームは、新人研修から部署への配属後はラウンドを通して苦楽を共有し、個々の成長につながる支援を行っています。確かな臨床実践力を獲得し、自身の看護に誇りをもち自己実現に近づけるよう、対話を通し一緒に成長していきたいと考えています。

育児と仕事の両立

高垣 杏奈 (2015年入職)

私がこの病院を選んだ理由は、教育体制が整っていると感じたからです。実際、研修で色々体験ができました。現在は、結婚・出産を経て6ヶ月で復帰したため、育児時間として1時間半の職務免除や夜勤免除は助かりました。現在は、日勤業務は通常勤務をしていますが、家族や職場の方々の助けを得て仕事と育児の両立を頑張っています。

安心できる生活環境

松永 奈樹 (2021年入職)

私が入職を希望した理由は、ラダー教育制度で自己のスキルアップを目指せるだけでなく、ワークライフバランスのとれた職場環境だと感じたためです。地方からの就職であるため、現在は寮で生活していますが、他部署の同期ともコミュニケーションを図る機会が多く、一緒に勉強をしたりと刺激的かつ助け合える環境で充実しています。寮の周囲の環境も良く、常に好奇心強めの充実した生活が送れています。先輩看護師は、明るい方が多く、働きやすい職場環境を整えて頂いています。新人看護師の意見も尊重され、自身の看護観を大切にしたい看護師になれると感じています。

大宮 歩佳 (2023年入職)

インターンシップに参加した際、当時の新人看護師から教育体制が充実していることや、やりがいをもって働いていることを聞き、看護師として成長できると感じたため入職しました。様々な研修や学習会の機会があり、他部署の同期ともコミュニケーションをとれる環境で学習を行うことができました。仕事だけではなく、ワークライフバランスのとれた職場環境であるため、休日でのリフレッシュが仕事へのモチベーションになっています。

地域活動

Regional activity

地域活動も充実

地域医療を担っている病院は、地域貢献活動も重要なファクターです。災害時などの有事以外にも日頃から地域の方とのコミュニケーションを大事にしています。

地域公開講座



災害訓練



消防ヘリ離発着訓練



スポーツ大会の医療サポート



others

院内の憩い



庭園

緑が多く患者様の憩いの場として、喜ばれております。

図書室



調べものがある時は必要十分な書籍が取り揃えられており、職員も有効活用しております。

福利厚生など

more

〈休日〉完全週休2日制
〈休暇〉産休、育休、介護休暇、ワークライフバランス休暇7日間(1年中どこでも取得可能な休暇)
〈育児支援〉子の看護休暇／育児休業／育児短時間制度／部分休業制度／夜勤免除(期間限定)
〈加入保険〉健康保険・共済組合(年金)、労災
〈その他〉福利厚生のRELO CLUB(リロクラブ)加入

カンゴザウルス受賞

〈多様な働き方を応援〉
本院では、働き続けられる環境づくりにも取り組んでいます。2016年度には院内保育園、育児短時間制度、病児保育などが認められ、日本看護協会から「カンゴザウルス賞」を授与されました。

